



エメラルド・ジュビリー

2022.6.20.

私たちの結婚記念日は6月11日です。私はジューンブライドだったのです。暦では入梅の日ですが、結婚式の前夜は大雨、当日は快晴、夜は雷雨だった記憶があります。そういえば、前夜に私は家族と別れ、家を出る事が悲しくて、大泣きしてしまいました。当日は気持ちを切り替え、堂々と結婚式を挙行(?)したのです。その後の結婚生活では嵐を呼ぶ日があったり、波乱があったりの連続でした。全くお天気と同じです。爺・婆になって、この日を記念するなど、想像さえしていませんでした。

記念日は、18年前には、入院していた母のベッドのそばで、母の臨終の姿を見守る日となり、さらに3年前には、末の妹の召天の日となりました。嬉しいはずの結婚記念日が、悲しみ、寂しさと重なって以来、その日は、母と妹を記念する日として、過ごすようになりました。

さて、今年は結婚55年記念日となりました。金婚式に息子夫妻から心のこもった豪華なパーティをプレゼントされて、驚き、歓喜し、感謝したことは忘れることができません。55年はエメラルド・ジュビリーと呼ばれていることを知り、私の誕生石、私の好きな色でもある「エメラルド・緑」に因んで、6月11日ではなく、一週間遅れの18日に、ささやかながら、自宅でパーティを催してみようと思いましたが。

たまたま、生協で北海道鹿追牛のサーロインステーキの予約販売があり、ちょうど前日に受け渡しということになりましたので、メインはステーキに決めました。6人のために、これまでは大皿料理で遣り繰りしてきましたが、ステーキとなると？ フレンチのフルコースにトライしてみようか、という野望に突き動かされることになりました。

そういうわけで、18日には朝から料理を作りはじめ、夕刻に家族が揃いました。この日、息子夫婦は白いカラーのブーケと、ワイン、大吟醸を持って来てくれました。巨大な「とらやの羊羹」が記念品でした。一同、慣れない手つきで、スパークリング・ワインで乾杯して、宴は始まりました。



- ① オードブル ホタテのエスカルゴ風・チーズの生ハム巻・紫蘇入りハンパンの雲丹添え
- ② スープ 冷製グリーンピース・スープ
ここでパンとサラダを出します。
- ③ ポワソン 小エビのバジルオリーブ掛けの焼物にディル
- ④ ソルベ 半冷凍マスカットゼリーとサクランボ

⑤ アントレ 鹿追牛サーロインにモロッコインゲンと椎茸のソテー添え

⑥ デザート メロン

⑦ コーヒーまたはローズ・ティ 枝豆餡の抹茶ロールケーキ

息子家族と夫は私のチャレンジの治験者(?)になり、珍しがって、美味しいとも褒めてくれて、なんとかエメラルドに因んだ食事ができました。



55年間守られて過ごし、息子家族にも恵まれ、感謝の思いで一杯です。また、記念すべき日を、私なりのお茶目心で楽しんで、工夫して、楽しい思い出の1ページを作りました。